

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原SC計画(SM棟)	階数	地上1F
建設地	相模原市中央区下九沢字山崎765番1外	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3,500 人
気候区分		年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2014年6月 予定	評価の実施日	2014年6月2日
敷地面積	18,680 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社奥村組
建築面積	3,248 m <sup>2</sup>	確認日	2014年6月2日
延床面積	3,113 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社奥村組



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 参照値: 100%  
 建築物の取組み: 55%  
 上記+: 55%  
 上記+: 55%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 2.6	Q2のスコア = 2.9	Q3のスコア = 2.1
音環境: 2.6, 温熱環境: 2.1, 光・視環境: 3.0, 空気質環境: 3.2	機能性: 2.7, 耐用性: 2.9, 対応性: 3.3	生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.6	LR2のスコア = 2.9	LR3のスコア = 3.7
建物の: 3.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.9, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 4.8, 地域環境: 3.4, 周辺環境: 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
可能な限り緑地を配し、景観に配慮した。	0	
<b>Q1 室内環境</b> 建物の外気取入れについて空気質環境に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 店舗売場の天井高を高くする事により、広さ感・開放感に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 適切な緑地づくりに配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 屋根に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型機器の採用により、水資源保護に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO <sub>2</sub> 排出量の抑制により地球温暖化への配慮を行った。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される